(上)資料①

【令和６年度浜田市上下水道事業審議会　第３回】

# 浜田市水道事業
# 料金改定における料金表の設定について

令和７年１月17日

浜田市　上下水道部

# 目次

１．前回審議会（R6.10.18 開催）のおさらい ..... 2
２．料金体系の検討項目の整理 ..... 4
３．総括原価と理論的な料金体系 ..... 6
４．（新）料金表の設定に係る前提条件..... 16
５．（新）料金表の設定..... 18
６．（新）料金表による使用者への影響 ..... 27
７．改定後の県内 8 市の水道料金比較 ..... 30

# １．前回審議会（R6.10.18 開催）のおさらい

前回審議会では以下の点についてご審議いただきました。

## （1）経営状況の見通しと経営課題

本市の水道事業は、物価高騰や給水人口の減少により経営状況が悪化する中、漏水対策や災害への備えとして管路更新等の財源捻出のためにも収益改善が急務となっています。

そこで、向こう 10 年間の経営シミュレーション（投資・財政計画）を策定し、以下 4 点の経営課題を確認しました。

| 課題 | 状況 |
|---|---|
| 収支赤字 | 給水人口の減少に伴う減収、物価高騰や管路等の老朽化による改修費等の増により、早ければ令和 7 年度から営業収支の赤字（当期純損失）が見込まれる。 |
| 企業債の負担増加 | 本市の企業債残高は全国の類似団体（給水人口 3～5 万人）平均と比較して多く、将来世代との負担の平準化の観点から、企業債発行の抑制に務める必要がある。 |
| 保有資金の枯渇 | 収支赤字が見込まれる中、水の安定供給のため施設の維持管理や管路等の更新投資を継続すると、令和 13 年度に資金枯渇（資金ショート）が見込まれる。 |
| 管路更新の遅れ | 老朽管路の更新の遅れによる漏水の発生、災害等での断水を回避するために管路等の更新（耐震化）速度の底上げが必要だが、年々減収減益となり資金の確保が難しい。 |

以上の課題を解決するには

今後、管路等の更新速度の底上げを行い、災害等の緊急的な支出にも資金ショートせず安定した事業経営を継続するためには、料金改定による収入の確保が必要です。

## （2）経営目標（目標資金残高）の設定

料金改定における経営目標を資金と費用の両面から検討し、料金算定期間（5 年）における保有資金の目安額を設定し、それが総括原価で算出した必要とされる料金水準と合致しているか確認しました。

### ① 資金余力による比較検討（資金に着目した検討）

全国の類似団体のうち県内 4 団体の資金余力との比較、本市のキャッシュアウト実績を考慮し、**料金算定期間の最終年度（R13）における資金残高を 16 億円程度確保することを経営目標**としました。

② 総括原価方式（費用に着目した検討）

令和 3 年度から令和 5 年度の過去 3 ヵ年実績による総括原価から本市の適正な供給単価は「269.6 円／㎥」となり、令和 5 年度供給単価「195.4 円／㎥」と比較し 38.0%の乖離が生じていることを確認しました。

また、この乖離を埋めることで、建設改良費を年 2 億円増額（財源は年 1 億円を起債とする）した場合においても、**料金算定期間の最終年度（R13）に 15.5 億円の資金保有**となり経営目標と概ね合致することを確認しました。

投資規模を 2 億円拡大する効果について（有収率、収益率改善への影響について）

一般的に管路更新については、1km 更新につき事業費が 2 億円必要とされています。

2 億円の上乗せで年間 1km の更新が新たに可能となりますが、本市における更新が必要な管路は約 1,067km あり、投資規模 10 億円を全額管路更新に充てた場合においても、全てを更新するには 210 年程度かかることになります。

なお、令和 5 年度の漏水修繕は約 300 箇所で発生し、1 箇所あたり約 24 万円の修繕費がかかっています。修繕の全てが未更新箇所で発生していると想定すると、3.5km につき 1 箇所の修繕箇所の分布となります。

すると、料金算定期間の 5 年間で年 2 億円の投資規模の上乗せでカバーできるのは 1 箇所程度であり、有収率の向上や経営シミュレーション（投資・財政計画）における収益率が改善するほどの影響はありません。

# ２．料金体系の検討項目の整理

前回審議会で設定した経営目標に沿って、以下のとおり具体的に料金体系を検討していきます。

## （1）検討の視点及び方向性

### ① 法的な視点（負担の公平性の確保）

「特定のものに対して不当な差別的取り扱いをするものでないこと」とされています。
（水道法第 14 条第 2 項第 4 号）

### ② 経営的な視点（経営環境の変化に対応した料金体系）

今後、人口減少等により有収水量の減少が予測される中、その影響を受けにくい体系とします。

### ③ その他の視点（負担の平準化）

一部の使用者に急激な料金負担増とならないように配慮します。

## （2）検討項目、検討方法

### ① 基本料金収入と従量料金収入の割合の設定

| 検討の考え方 | 検討方法 |
|---|---|
| 総括原価のうち、給水量に関わらず発生する費用は、原則として固定収入である基本料金で回収することが望まれます。<br>また、水需要の減少が見込まれる現状において、経営の安定性を増すためには、基本料金収入割合の増加を検討する必要があります。 | 水道料金算定要領（公益社団法人日本水道協会）により算出される、総括原価の基本料金収入と従量料金収入の割合を基に検討します。 |

### ② 口径別基本料金単価の設定

| 検討の考え方 | 検討方法 |
|---|---|
| 使用者に、給水管の口径に応じた負担を求めることを前提に、①で算出される基本料金収入総額を満たす各口径単価を検討する必要があります。 | 水道料金算定要領により算出される、基本料金で回収すべき収入総額の配賦方法を参考にして、各口径の料金改定率等を検討します。 |

### ③ 従量料金の単価の設定

| 検討の考え方 | 検討方法 |
|---|---|
| ①で算出される従量料金収入総額を満たす単価を検討する必要があります。 | 従量料金は、使用量に応じて公平に負担すべきものであり、水道料金算定要領では原則として均一とすることとされています。<br>現在、本市では逓増逓減型を採用し、少量利用者と大口利用者の負担軽減に配慮しており、逓増逓減型の取扱いを協議の上、料金改定率等を検討します。 |

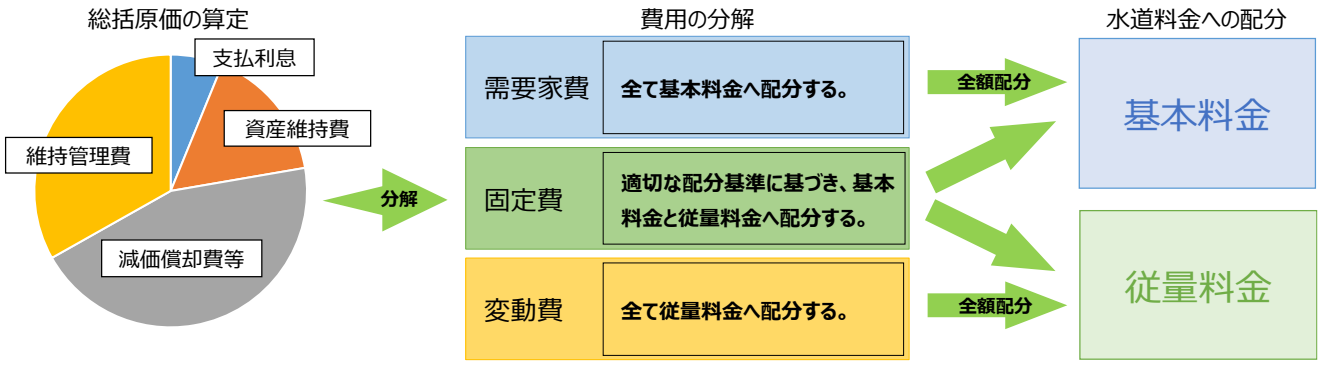
# ３．総括原価と理論的な料金体系

「水道料金算定要領（公益社団法人日本水道協会）」を参考に過去３ヵ年の総括原価を算出し、この総括原価を基本料金及び従量料金に配賦して理論的な料金体系を求めます。

参考：（上）資料②「総括原価の算出について」

## （1）総括原価・理論的な料金体系の算出方法

| 項目 | 考え方 |
|---|---|
| ① 総括原価の算定 | 令和3年度～令和5年度の決算値をもとに、3ヵ年合計の総括原価を算定する。 |
| ② 需要家費・固定費・変動費の算定 | ①で求めた総括原価を、需要家費・固定費・変動費に分解する。 |
| ③ 需要家費・固定費・変動費を基本料金・従量料金へ配分 | ②で分解された需要家費・固定費・変動費を基本料金及び従量料金へ配分する。<br>・需要家費は全て基本料金へ配分する。<br>・固定費は適切な配分基準に基づき、基本料金と従量料金へ配分する。<br>・変動費は全て従量料金へ配分する。 |
| ④ 基本料金・従量料金の算定 | ③で配分されたものを集約し、理論的な基本料金・従量料金を算定する。<br>・基本料金に配分されたものは、調定件数や補正係数等により各口径に配賦する。<br>・従量料金に配分されたものは1㎥あたり均等に配賦する。 |




【用語説明】

需要家費　検針、量水器費など、水量に関わらず利用者が存在することにより発生する費用。
例）人件費（料金係）、検針委託料、料金システム保守料、収納手数料等

固定費　施設維持管理費など、施設を適切に維持していくために固定的に必要となる費用。
例）人件費、修繕費、委託料、使用料、借上料、通信運搬費、備消耗品費、負担金、減価償却費、支払利息、資産維持費等のうち需要家費以外のもの

変動費　薬品・動力費など、水量の増減に比例して発生する費用
例）薬品費、動力費

## ① 総括原価の算定

令和３年度～令和５年度の決算値をもとに、３ヵ年合計の総括原価を算定します。

### ■総括原価の内訳（結果）

（単位：円）

| 費用 | | | | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 営業費用 | 維持管理費 | 原浄水部門費 | | 547,931,718 |
| | | 配給水部門費 | | 804,214,762 |
| | | 一般管理業務部門費 | 検針・集金関係費 | 263,839,763 |
| | | | 量水器関係費 | 0 |
| | | | その他管理業務費 | 386,086,447 |
| | | | 小　計 | 649,926,210 |
| | | 計 | | 2,002,072,690 |
| | 減価償却費 | | | 2,647,511,849 |
| | 資産減耗費 | | | 64,056,250 |
| | 合　計 | | | 4,713,640,789 |
| 資本費用 | 支払利息 | | | 341,253,632 |
| | 資産維持費 | | | 992,332,975 |
| | 合　計 | | | 1,333,586,607 |
| △控除項目（給水収益以外の収益） | | | | -1,194,629,068 |
| 総　計 | | | | 4,852,598,328 |

（注）長期前受金戻入のうち国県補助金についてのみ控除項目に計上

## ② 需要家費・固定費・変動費の算定

①で求めた総括原価を、需要家費・固定費・変動費に分解します。

### ■分解原価の集計（結果）

（単位：円）

| 費用 | | | | 需要家費 | 固定費 | 変動費 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 原浄水部門 | | 維持管理費 | | — | 248,503,408 | 299,428,310 | 547,931,718 |
| | | 減価償却費等 | | — | 819,176,887 | — | 819,176,887 |
| | | 資本費用 | 支払利息 | — | 85,847,210 | — | 85,847,210 |
| | | | 資産維持費 | — | 248,713,373 | — | 248,713,373 |
| | | 小計 | | 0 | 1,402,240,878 | 299,428,310 | 1,701,669,188 |
| 配給水部門 | | 維持管理費 | | 65,917,058 | 76,246,173 | 129,180,135 | 271,343,366 |
| | | 減価償却費等 | | — | 1,749,742,076 | — | 1,749,742,076 |
| | | 資本費用 | 支払利息 | — | 230,824,346 | — | 230,824,346 |
| | | | 資産維持費 | — | 672,295,699 | — | 672,295,699 |
| | | 小計 | | 65,917,058 | 2,729,108,294 | 129,180,135 | 2,924,205,487 |
| 一般管理業務部門費 | 検針・集金関係費 | 維持管理費 | | 263,839,763 | — | — | 263,839,763 |
| | | 減価償却費等 | | — | 328,766 | — | 328,766 |
| | | 資本費用 | 支払利息 | — | 20,001 | — | 20,001 |
| | | | 資産維持費 | — | 62,187 | — | 62,187 |
| | | 小計 | | 263,839,763 | 410,954 | 0 | 264,250,717 |
| | 量水器関係費 | 維持管理費 | | — | — | — | 0 |
| | | 減価償却費等 | | — | 958,852 | — | 958,852 |
| | | 資本費用 | 支払利息 | — | 379,867 | — | 379,867 |
| | | | 資産維持費 | — | 1,104,182 | — | 1,104,182 |
| | | 小計 | | 0 | 2,442,901 | 0 | 2,442,901 |
| | その他管理業務費 | 維持管理費 | | 3,078,115 | -278,749,340 | — | -275,671,225 |
| | | 減価償却費等 | | — | 141,361,518 | — | 141,361,518 |
| | | 資本費用 | 支払利息 | — | 24,182,208 | — | 24,182,208 |
| | | | 資産維持費 | — | 70,157,534 | — | 70,157,534 |
| | | 小計 | | 3,078,115 | -43,048,080 | 0 | -39,969,965 |
| 計（3年間） | | 維持管理費 | | 332,834,936 | 46,000,241 | 428,608,445 | 807,443,622 |
| | | 減価償却費等 | | — | 2,711,568,099 | — | 2,711,568,099 |
| | | 資本費用 | 支払利息 | — | 341,253,632 | — | 341,253,632 |
| | | | 資産維持費 | — | 992,332,975 | — | 992,332,975 |
| | | 小計 | | 332,834,936 | 4,091,154,947 | 428,608,445 | 4,852,598,328 |

### ③ 需要家費･固定費･変動費を基本料金･従量料金へ配分

②で分解された需要家費・固定費・変動費を基本料金及び従量料金へ配分します。

### ア 需要家費 全て基本料金へ配分

（単位：円）

| 費目 | 総額（3年間） | 配分 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| | | 基本料金 | 従量料金 | |
| 需要家費 | 332,834,936 | 332,834,936 | ― | |

### イ 固定費 基本料金･従量料金に按分して配分

（単位：円）

| 費目 | | 総額（3年間） | 配分 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 基本料金（36%） | 従量料金（64%） | |
| 維持管理費 | | 46,000,241 | 16,560,086 | 29,440,155 | 固定費 × ((A-B) ÷A) = 基本料金<br>A=浄水施設能力（5年平均）33,831㎥<br>B=平均給水量（5年平均）21,534㎥<br>基本料金は浄水施設能力に対する、浄水施設能力と平均給水量の差（予備的施設）の比率を用いて計算している。 |
| 減価償却費等 | | 2,711,568,099 | 976,164,516 | 1,735,403,583 | |
| 資本費用 | 支払利息 | 341,253,632 | 122,851,307 | 218,402,325 | |
| | 資産維持費 | 992,332,975 | 357,239,871 | 635,093,104 | |
| 計 | | 4,091,154,947 | 1,472,815,780 | 2,618,339,167 | |

（注） 浄水施設能力と平均給水量の差を予備的施設として位置付け、基本料金に対して配分する。

直近5年間の浄水施設能力に変化はない。

下表のとおり、最大給水量と平均給水量の変動幅を比較すると、「平均給水量」の方が変動が少なく安定的な指標と捉える。

### ■固定費の配分基準の設定

「水道料金算定要領」では、以下の 4 つの配分基準が示されており、本市は「パターンⅱ」を採用します。

| パターン | 方法 | 考え方 |
|---|---|---|
| ⅰ | 固定費総額に対し、最大給水量に対する最大給水量と平均給水量の差の比率を乗じて得た額を基本料金とする方法 | 平均的な給水量相当の施設規模に見合う固定費は従量料金へ配分し、平均給水量を超える部分は需要実態を考慮し基本料金へ配分する。<br>**（結論）**<br>**最大給水量は年によって変動幅が大きく、基準として採用することが難しい。** |
| ⅱ | 固定費総額に対して、浄水施設能力に対する浄水施設能力と平均給水量の差の比率を乗じて得た額を基本料金とする方法 | 最大給水量に見合った浄水施設能力を有していれば安定供給が確保できるわけではなく、事故点検による休止、施設更新等も考慮した予備能力が必要となる。<br>よって、予備能力（予備的施設）に係る固定費は直接水道供給に関わらないため、全て基本料金に配分する。<br>**（結論）**<br>**浄水施設能力に対する予備能力を、ⅱ「平均給水量」かⅲ「最大給水量」のどちらを基準として採用するかの違いであり、本市では平均給水量の方が変動幅が少なく安定しているため、パターンⅱを採用するほうが合理的である。** |
| ⅲ | 固定費総額に対して、浄水施設能力に対する浄水施設能力と最大給水量の差の比率を乗じて得た額を基本料金とする方法 | |
| ⅳ | 固定費総額のうち、配給水部門費を基本料金とし他は従量料金とする方法 | 配給水施設は、日最大需要よりも負荷変動の大きい時間最大需要を基準に計画されることから、これに最も関連深い配給水部門費を基本料金に配分するという趣旨である。それ以外の部分については、個々の使用者が水道水を時間的にも日量的にも全く平均的に使用しているのであれば、固定費は基本料金として回収する必要はなく、全て従量料金として配分する。<br>**（結論）**<br>**基本料金と従量料金の比率を抜本的に転換することにつながり、給水量の少ない使用者を中心に市民生活に与える影響が大きく、基準として採用することが難しい。** |

## ■固定費の配分割合の計算

前ページの固定費の配分基準「パターンⅱ」により、配分割合を計算します。

**基本料金 ： 従量料金 ＝ 36% ： 64%**

（計算式）

浄水施設能力における基本料金の割合 ＝ （ A － B ） ÷ A

＝ （ 33,831 － 21,534 ） ÷ 33,831

＝ 0.3634 ＝ 36%

A ＝ 浄水施設能力（5 年平均） 33,831 ㎥

B ＝ 平均給水量（5 年平均） 21,534 ㎥

直近5年間の1日あたりの施設能力・給水量（実績）　（単位：㎥）

| | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | 最大・最小の差（変動幅） | 5年平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 浄水施設能力（1日最大量） | 33,831 | | | | | 0 | **33,831** |
| 最大給水量（年間最大日量） | 23,817 | 31,559 | 23,481 | 25,049 | 22,891 | 8,668 | **25,359** |
| 平均給水量（年間平均日量） | 21,762 | 22,104 | 21,681 | 21,542 | 20,581 | 1,523 | **21,534** |

最大　最小

（考え方）

- 浄水施設能力から稼働水量を除いたものを「予備水量」とする。
- 予備水量に係る固定費は、直接水道水供給に関わらないため、全て基本料金に配分する。
- 本市では過去 5 年間の最大給水量と平均給水量の変動幅を比較したところ、「平均給水量」の方が変動が少ないため安定的な指標と捉え、これを「稼働水量」とした。

## ウ 変動費　全て従量料金へ配分

（単位：円）

| 費目 | 総額（3年間） | 配分 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| | | 基本料金 | 従量料金 | |
| 変動費 | 428,608,445 | — | 428,608,445 | |

## ④ 基本料金･従量料金の算定

③で配分されたものを集約し、理論的な基本料金・従量料金を算定します。

### ア 需要家費

需要家費は基本料金として各使用者（各口径）に対して均等に配賦する。

（単位：円）

| 費目 | 総額（3年間） | 総検針回数(3年間)<br>（2ヵ月ごとに検針） | 1件2ヵ月あたり<br>配賦額 | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 需要家費 | 332,834,936 | 508,153 | 654.99 | 1件2月あたり<br>配賦額の算定式 | 需要家費　総額（3年間）<br>総検針回数（3年間） |

基本料金へ

### イ 固定費

固定費は、次の基準により基本料金として各使用者（各口径）へ、もしくは従量料金として給水量 1 ㎥あたり均等に配賦する。

（単位：円）

| 口径 | 調定件数（3年間）<br>(a) | 流量比（補正後）<br>(b) | 口径別総合配賦率 | | 固定費の配賦 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | (a) × (b) | 左の百分比 | 固定費総額(3年間) | 1件2ヵ月あたり |
| 13mm | 287,662 | 1.00000 | 287,662 | 29.96% | 441,227,370 | 円 銭<br>1,533.84 |
| 20mm | 202,028 | 2.51491 | 508,083 | 52.91% | 779,317,457 | 3,857.47 |
| 25mm | 10,713 | 4.02016 | 43,068 | 4.49% | 66,059,420 | 6,166.29 |
| 30mm | 488 | 5.95253 | 2,905 | 0.30% | 4,455,553 | 9,130.23 |
| 40mm | 4,686 | 10.95523 | 51,336 | 5.35% | 78,741,530 | 16,803.57 |
| 50mm | 2,019 | 17.62748 | 35,590 | 3.71% | 54,589,176 | 27,037.73 |
| 75mm | 485 | 42.16862 | 20,452 | 2.13% | 31,369,752 | 64,679.90 |
| 100mm | 18 | 77.03496 | 1,387 | 0.14% | 2,126,867 | 118,159.27 |
| 150mm | 54 | 180.23826 | 9,733 | 1.01% | 14,928,656 | 276,456.59 |
| 計 | 508,153 | — | — | 100.00% | 1,472,815,780 | — |

基本料金へ

※ 流量比については（上）資料②「総括原価の算出について」11 ページを参照

（単位：円）

| 区分 | 固定費総額（3年間）<br>(c) | 総有収水量（㎥）（3年間）<br>(d) | 給水量1㎥当たりの配賦額<br>(c) ÷ (d) |
|---|---|---|---|
| 維持管理費 | 29,440,155 | 17,998,762㎥ | 円 銭<br>1.64 |
| 減価償却費等 | 1,735,403,583 | | 96.42 |
| 支払利息 | 218,402,325 | | 12.13 |
| 維持管理費 | 635,093,104 | | 35.29 |
| 計 | 2,618,339,167 | — | 145.47 |

従量料金へ

### ウ 変動費

変動費は、従量料金として給水量 1 ㎥あたり均等に配賦する。

（単位：円）

| 費目 | 変動費総額（3年間）<br>(e) | 総有収水量（㎥）（3年間）<br>(f) | 給水量1㎥当たりの配賦額<br>(e) ÷ (f) |
|---|---|---|---|
| 変動費 | 428,608,445 | 17,998,762㎥ | 円 銭<br>23.81 |

従量料金へ

■配賦原価の集計（2ヵ月あたり）

（単位：円）

| 区分 | 費目 | 13mm | 20mm | 25mm | 30mm | 40mm | 50mm | 75mm | 100mm | 150mm |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 需要家費 | 654.99 | 654.99 | 654.99 | 654.99 | 654.99 | 654.99 | 654.99 | 654.99 | 654.99 |
| | 固定費 | 1,533.84 | 3,857.47 | 6,166.29 | 9,130.23 | 16,803.57 | 27,037.73 | 64,679.90 | 118,159.27 | 276,456.59 |
| | 計 | 2,188.83 | 4,512.46 | 6,821.28 | 9,785.22 | 17,458.56 | 27,692.72 | 65,334.89 | 118,814.26 | 277,111.58 |
| | 上記の補正 | 2,189 | 4,512 | 6,821 | 9,785 | 17,459 | 27,693 | 65,335 | 118,814 | 277,112 |
| 従量料金 | 固定費 | 145.47 | | | | | | | | |
| | 変動費 | 23.81 | | | | | | | | |
| | 計 | 169.28 | | | | | | | | |
| | 上記の補正 | 169 | | | | | | | | |

## （2）理論的な基本料金、従量料金の算定（結果）

（1）で算出した「水道料金算定要領（公益社団法人日本水道協会）」を参考にした過去3カ年の総括原価による理論的な料金体系は以下のとおりです。

| 項目 | 総括減価方式による整理事項 |
|---|---|
| 料金改定率※ | 138.0% |
| 原価算定期間 | 令和3年度～令和5年度（3ヵ年） |
| 資産維持率 | 1.585% |
| 固定費配分基準 | パターンii<br>（固定費を浄水施設能力に対する平均給水量の割合で従量料金に按分） |
| 総括減価 | 4,852,598千円 |

※料金改定率

| | | |
|---|---|---|
| 総括減価（3ヵ年平均） | 1,617,533 千円 | A |
| 有収水量（　〃　） | 6,000 千㎥ | B |
| 供給単価（　〃　） | 269.6 円／㎥ | C＝A÷B |
| 【参考】R5供給単価 | 195.4 円／㎥ | D |
| 料金改定率<br>(現行単価との乖離) | **138.0 %** | **C÷D** |

上記の整理に基づく
口径別料金表

2ヵ月あたり（税抜）

| 基本料金 | | 従量料金<br>使用水量1㎥につき |
|---|---|---|
| 口径 | 基本料金 | |
| 13mm | 2,189円 | 169円 |
| 20mm | 4,512円 | |
| 25mm | 6,821円 | |
| 30mm | 9,785円 | |
| 40mm | 17,459円 | |
| 50mm | 27,693円 | |
| 75mm | 65,335円 | |
| 100mm | 118,814円 | |
| 150mm | 277,112円 | |

基本料金と従量料金の配分割合　（単位：円）

| 項目 | 基本料金 | 従量料金 |
|---|---|---|
| 需要家費 | 332,834,936 | — |
| 固定費 | 1,472,815,780 | 2,618,339,167 |
| 変動費 | — | 428,608,445 |
| 小計 | 1,805,650,716 | 3,046,947,612 |
| 合計 | 4,852,598,328 | |
| **割合** | **37.2%** | **62.8%** |

参考：令和5年度の配分割合（実績）

| | | |
|---|---|---|
| 割合 | 27.3% | 72.7% |

上記料金表は、あくまで「水道料金算定要領」に基づく一般的な整理手法により総括原価を整理した理論的な料金表であり、本市における現況を加味したうえで、(新)料金表を検討する必要があります。

（参考）現行水道料金表

2ヵ月あたり（税抜）

| 基本料金 | | 従量料金（使用水量1㎥につき） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 口径 | 基本料金 | | | | |
| 13mm | 1,680円 | | | | |
| 20mm | 1,800円 | 0㎥ | ～ | 20㎥ | 85円 |
| 25mm | 2,600円 | 21㎥ | ～ | 40㎥ | 150円 |
| 30mm | 2,600円 | 41㎥ | ～ | 100㎥ | 185円 |
| 40mm | 6,200円 | 101㎥ | ～ | 1,000㎥ | 220円 |
| 50mm | 12,400円 | 1,001㎥ | ～ | 2,000㎥ | 205円 |
| 75mm | 18,400円 | 2,001㎥ | ～ | | 190円 |
| 100mm | 62,400円 | | | | |
| 150mm | 71,400円 | | | 臨時用・船舶用 | 490円 |

逓増逓減型

## （3）理論的な料金体系による使用者への影響

２ヵ月あたりの影響額（負担増）について、以下のとおりモデルケースを想定しました。

### ■使用口径：13mm

| 口径 | 13mm | 使用水量 | 20㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 理論的な料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 1,680 | 1,700 | 3,380 | 2,189 | 3,380 | 5,569 | 509円増 | 1,680円増 | 2,189円増 |
| | | | | | | 30.3%増 | 98.8%増 | 64.8%増 |

| 口径 | 13mm | 使用水量 | 40㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 理論的な料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 1,680 | 4,700 | 6,380 | 2,189 | 6,760 | 8,949 | 509円増 | 2,060円増 | 2,569円増 |
| | | | | | | 30.3%増 | 43.8%増 | 40.3%増 |

| 口径 | 13mm | 使用水量 | 100㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 理論的な料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 1,680 | 15,800 | 17,480 | 2,189 | 16,900 | 19,089 | 509円増 | 1,100円増 | 1,609円増 |
| | | | | | | 30.3%増 | 7.0%増 | 9.2%増 |

### ■使用口径：20mm

| 口径 | 20mm | 使用水量 | 20㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 理論的な料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 1,800 | 1,700 | 3,500 | 4,512 | 3,380 | 7,892 | 2,712円増 | 1,680円増 | 4,392円増 |
| | | | | | | 150.7%増 | 98.8%増 | 125.5%増 |

| 口径 | 20mm | 使用水量 | 40㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 理論的な料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 1,800 | 4,700 | 6,500 | 4,512 | 6,760 | 11,272 | 2,712円増 | 2,060円増 | 4,772円増 |
| | | | | | | 150.7%増 | 43.8%増 | 73.4%増 |

| 口径 | 20mm | 使用水量 | 100㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 理論的な料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 1,800 | 15,800 | 17,600 | 4,512 | 16,900 | 21,412 | 2,712円増 | 1,100円増 | 3,812円増 |
| | | | | | | 150.7%増 | 7.0%増 | 21.7%増 |

### ■使用口径：25mm

| 口径 | 25mm | 使用水量 | 40㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 理論的な料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 2,600 | 4,700 | 7,300 | 6,821 | 6,760 | 13,581 | 4,221円増 | 2,060円増 | 6,281円増 |
| | | | | | | 162.3%増 | 43.8%増 | 86.0%増 |

| 口径 | 25mm | 使用水量 | 100㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 理論的な料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 2,600 | 15,800 | 18,400 | 6,821 | 16,900 | 23,721 | 4,221円増 | 1,100円増 | 5,321円増 |
| | | | | | | 162.3%増 | 7.0%増 | 28.9%増 |

## ■使用口径：30mm

| 口径 | 30mm | 使用水量 | 40㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 理論的な料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 2,600 | 4,700 | 7,300 | 9,785 | 6,760 | 16,545 | 7,185円増 | 2,060円増 | 9,245円増 |
| | | | | | | 276.3%増 | 43.8%増 | 126.6%増 |

| 口径 | 30mm | 使用水量 | 100㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 理論的な料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 2,600 | 15,800 | 18,400 | 9,785 | 16,900 | 26,685 | 7,185円増 | 1,100円増 | 8,285円増 |
| | | | | | | 276.3%増 | 7.0%増 | 45.0%増 |

## ■使用口径：40mm

| 口径 | 40mm | 使用水量 | 100㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 理論的な料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 6,200 | 15,800 | 22,000 | 17,459 | 16,900 | 34,359 | 11,259円増 | 1,100円増 | 12,359円増 |
| | | | | | | 181.6%増 | 7.0%増 | 56.2%増 |

| 口径 | 40mm | 使用水量 | 1000㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 理論的な料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 6,200 | 213,800 | 220,000 | 17,459 | 169,000 | 186,459 | 11,259円増 | -44,800円増 | -33,541円増 |
| | | | | | | 181.6%増 | -21.0%増 | -15.2%増 |

## ■使用口径：50mm

| 口径 | 50mm | 使用水量 | 100㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 理論的な料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 12,400 | 15,800 | 28,200 | 27,693 | 16,900 | 44,593 | 15,293円増 | 1,100円増 | 16,393円増 |
| | | | | | | 123.3%増 | 7.0%増 | 58.1%増 |

| 口径 | 50mm | 使用水量 | 1000㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 理論的な料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 12,400 | 213,800 | 226,200 | 27,693 | 169,000 | 196,693 | 15,293円増 | -44,800円増 | -29,507円増 |
| | | | | | | 123.3%増 | -21.0%増 | -13.0%増 |

## ■使用口径：75mm

| 口径 | 75mm | 使用水量 | 1000㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 理論的な料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 18,400 | 213,800 | 232,200 | 65,335 | 169,000 | 234,335 | 46,935円増 | -44,800円増 | 2,135円増 |
| | | | | | | 255.1%増 | -21.0%増 | 0.9%増 |

| 口径 | 75mm | 使用水量 | 2000㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 理論的な料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 18,400 | 418,800 | 437,200 | 65,335 | 338,000 | 403,335 | 46,935円増 | -80,800円増 | -33,865円増 |
| | | | | | | 255.1%増 | -19.3%増 | -7.7%増 |

## ■使用口径：100mm

| 口径 | 100mm | 使用水量 | 1000㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | |
|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 62,400 | 213,800 | 276,200 |

| 理論的な料金 | | |
|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 118,814 | 169,000 | 287,814 |

| 負担増 | | |
|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 56,414円増 | -44,800円増 | 11,614円増 |
| 90.4%増 | -21.0%増 | 4.2%増 |

| 口径 | 100mm | 使用水量 | 2000㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | |
|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 62,400 | 418,800 | 481,200 |

| 理論的な料金 | | |
|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 118,814 | 338,000 | 456,814 |

| 負担増 | | |
|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 56,414円増 | -80,800円増 | -24,386円増 |
| 90.4%増 | -19.3%増 | -5.1%増 |

## ■使用口径：150mm

| 口径 | 150mm | 使用水量 | 1000㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | |
|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 71,400 | 213,800 | 285,200 |

| 理論的な料金 | | |
|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 277,112 | 169,000 | 446,112 |

| 負担増 | | |
|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 205,712円増 | -44,800円増 | 160,912円増 |
| 288.1%増 | -21.0%増 | 56.4%増 |

| 口径 | 150mm | 使用水量 | 2000㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | |
|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 71,400 | 418,800 | 490,200 |

| 理論的な料金 | | |
|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 277,112 | 338,000 | 615,112 |

| 負担増 | | |
|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 205,712円増 | -80,800円増 | 124,912円増 |
| 288.1%増 | -19.3%増 | 25.5%増 |

【ポイント】

- 基本料金については、13㎜ を除き改定率が軒並み 100%を超えるなど、現行料金と比較して 2 倍以上の負担増となっています。
- 従量料金については、2 ヵ月あたりの使用水量が 121 ㎥までは現行料金と比較して負担が増し、122 ㎥以上は負担が減るため、少量利用者の負担が重くなっています。
- モデルケースで示したとおり、口径や使用量による負担のばらつきが大きく、負担の公平性の観点から理論的な料金体系を採用することは難しいと考えます。
- 理論的な料金体系の考え方の一部を参考にしつつ、口径別分布や使用水量といった本市の実態を踏まえて、料金体系を検討する必要があります。

# ４．（新）料金表の設定に係る前提条件

総括原価を整理した理論的な料金表を参考に、加味すべき前提状況を整理します。

## （1）基本料金と従量料金の考え方

### ① 基本料金の考え方

- 基本料金とは、給水準備のために必要な原価であり、各使用者の水使用の有無にかかわらず負担する料金をいいます。
- 基本料金では「需要家費」と「固定費」を回収することとなっていますが、固定費を全額基本料金で回収する場合は著しく基本料金が高額となるため、水道水の低廉な供給や少量利用者へ配慮し、基本料金と従量料金への配分を検討する必要があります。
- 一方で、給水人口の減少が続く昨今において、有収水量の減少に影響を受けにくい料金体系の設定が望ましいため、基本料金の割合を高めていくことが考えられます。
- 基本料金の割合を高めることによるメリット、デメリットは以下のとおりです。

| メリット | デメリット |
|---|---|
| ・固定的な収入の割合が高まるため、経営の安定性が増す。<br>・将来的に給水人口の減少や節水機器の普及が進んでも、給水収益の落ち込みの影響を小さくすることができる。 | ・基本料金は水使用の有無にかかわらず発生するため、少量利用者の負担が相対的に高くなる。 |

### ② 従量料金の考え方

- 従量料金とは、使用量に応じて公平に負担すべきものとされ、水道料金算定要領では原則均一とされています。
- 従量料金では「変動費」と「固定費」の一部を回収することとなっています。
- 本市では「逓増逓減型」を採用し、少量利用者及び大口利用者のそれぞれに配慮した料金体系となっています。
- 逓増逓減型を均一型に変更することによるメリット、デメリットは以下のとおりです。

| メリット | デメリット |
|---|---|
| ・負担の公平性が担保される。 | ・少量利用者及び大口利用者の負担が増える。 |

## （2）基本料金収入と従量料金収入の割合の設定

総括原価における理論的な収入割合及び過去の実績等は以下のとおりです。

| 項目 | 基本料金収入 | ： | 従量料金収入 |
|---|---|---|---|
| 総括原価による理論的な割合 | 3.7 | ： | 6.3 |
| 前回料金改定時（H30）の目標 | 2 | ： | 8 |
| 令和５年度（実績） | 2.7 | ： | 7.3 |

総括原価及び過去実績等を加味し、以下の割合に設定することが考えられます。

| 項目 | 基本料金収入 | ： | 従量料金収入 |
|---|---|---|---|
| 目標収入割合 | 3.0 | ： | 7.0 |

【設定のポイント】

- 前回料金改定時には２：８を目指していましたが、直近実績（R5）では 2.7：7.3 と基本料金収入の割合が高まっており、給水件数の減少スピードより使用水量の減少スピードが速くなっていることが分かります。
- 今後も給水人口が減少する見込みの中、経営の安定性を増すには使用水量の減少に影響を受けにくい料金体系の設定が必要であるため、基本料金の割合を高めます。
- ただし、総括原価による理論的な割合まで高めると利用者の急激な負担増につながるため、今回は目標収入割合として３：７を設定します。

### ■経営目標を満たす給水収益（38%増改定）に目標収入割合を反映した場合

経営目標である「料金算定期間の最終年度（R13）における資金残高を 16 億円程度確保」のために必要な料金収入（38%増改定）に対し、上記で設定した基本料金と従量料金の目標収入割合を反映すると、内訳は以下のとおりです。

改定後　　決算　　新料金　　単位：千円

| | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 料金収入 | 1,133,128 | 1,128,055 | 1,091,753 | 1,053,105 | 1,437,674 | 1,393,794 | 1,336,130 | 1,309,659 | 1,268,942 | 1,203,481 | 1,172,779 |
| うち収入増額 | － | － | － | － | 397,813 | 385,672 | 369,715 | 362,391 | 351,124 | 333,011 | 324,515 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金収入 3割 | 431,302 | 418,138 | 400,839 | 392,898 | 380,683 | 361,044 | 351,834 |
| 従量料金収入 7割 | 1,006,372 | 975,656 | 935,291 | 916,761 | 888,259 | 842,437 | 820,945 |
| **計** | **1,437,674** | **1,393,794** | **1,336,130** | **1,309,659** | **1,268,942** | **1,203,481** | **1,172,779** |

# ５．（新）料金表の設定

前提条件を加味した(新)料金表を、以下の流れで設定します。

### (1) 給水件数の推移予測

基本料金収入に必要な給水件数の推移を予測します。

### (2) 従量料金の推移予測

従量料金収入の推移を予測します。

### (3) 料金改定前の経営シミュレーション（料金収入）との比較

(1)(2)の予測を現行料金表に当てはめ、料金改定前の料金収入予測と合致しているか確認します。

### (4) 目標とする料金収入の確認

(3)で妥当性を確認した「給水件数・従量料金の予測による料金収入の推移」に、経営目標を実現するために必要な料金改定率 38%増を反映し、目標収入割合「基本料金：従量料金＝3：7」を満たす目標収入額を算出します。

### (5) (新)口径別基本料金単価の設定

(4)で確認した目標収入額を満たす口径別基本料金単価を設定します。

### (6) (新)従量料金単価の設定

(4)で確認した目標収入額を満たす従量料金単価を設定します。

### (7) (新)料金表の概要

(5)(6)で設定した新単価を反映した(新)料金表を確認します。

### (8) (新)料金表と経営目標との比較

設定された(新)単価が目標収入割合を満たし、かつ経営目標と合致しているか確認します。

## （1）給水件数の推移予測

令和５年度の給水件数をベースに過去の減少率を勘案し、以下のとおり予測しました。

### ■口径別給水件数の今後の推移予測

（単位：件）

| 給水件数（予測） | | 決算 R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 13mm | 年減少幅 -1.4% | 94,341 | 93,020 | 91,718 | 90,434 | 89,168 | 87,920 | 86,689 | 85,475 | 84,278 | 83,098 | 81,935 |
| 20mm | -0.7% | 67,536 | 67,063 | 66,594 | 66,128 | 65,665 | 65,205 | 64,749 | 64,296 | 63,846 | 63,399 | 62,955 |
| 25mm | -0.7% | 3,537 | 3,512 | 3,487 | 3,463 | 3,439 | 3,415 | 3,391 | 3,367 | 3,343 | 3,320 | 3,297 |
| 30mm | 0.0% | 164 | 164 | 164 | 164 | 164 | 164 | 164 | 164 | 164 | 164 | 164 |
| 40mm | -1.0% | 1,543 | 1,528 | 1,513 | 1,498 | 1,483 | 1,468 | 1,453 | 1,438 | 1,424 | 1,410 | 1,396 |
| 50mm | -0.2% | 669 | 668 | 667 | 666 | 665 | 664 | 663 | 662 | 661 | 660 | 659 |
| 75mm | 0.0% | 165 | 165 | 165 | 165 | 165 | 165 | 165 | 165 | 165 | 165 | 165 |
| 100mm | 0.0% | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 150mm | 0.0% | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 |
| 臨時用･船舶用 | -2.0% | 468 | 459 | 450 | 441 | 432 | 423 | 415 | 407 | 399 | 391 | 383 |
| 計 | | 168,447 | 166,603 | 164,782 | 162,983 | 161,205 | 159,448 | 157,713 | 155,998 | 154,304 | 152,631 | 150,978 |

（注）2ヵ月単位の請求件数を給水件数とする。ただし臨時用･船舶用は基本料金を請求しないため本推計から除く。

（注）共用栓については世帯数×13mmとして計上

【予測のポイント】

- 本市のボリュームゾーンは、13ｍｍ・20ｍｍの小口径使用者であり、全体の約 96％を占めています。
- 過去 3 年（R3-R5）の給水件数（請求件数）の推移をもとに年減少幅を設定した結果、小口径使用者の減少が大きく、大口径使用者については件数が概ね固定化し、今後も減少の見込みはないと判断しました。

## （2）従量料金の推移予測

過去（R3-R5）の減少率を勘案し、年減少幅を「△3.1％」としました。

### ■従量料金の推移（実績）

（単位：千円）

| 口径 | R3 | R4 | R5 |
|---|---|---|---|
| 13mm | 416,322 | 402,214 | 389,962 |
| 20mm | 395,944 | 382,876 | 377,714 |
| 25mm | 69,206 | 67,827 | 64,607 |
| 30mm | 7,139 | 6,532 | 6,215 |
| 40mm | 108,172 | 103,891 | 101,338 |
| 50mm | 101,476 | 100,354 | 94,930 |
| 75mm | 70,946 | 68,669 | 63,471 |
| 100mm | 2,159 | 2,199 | 2,255 |
| 150mm | 34,543 | 31,112 | 30,989 |
| 計 | 1,205,907 | 1,165,674 | 1,131,481 |
| 減少率 | | △ 3.3% | △ 2.9% |

【予測のポイント】

- 前回料金改定が完了した令和 2 年 10 月以降の現行料金となった令和 3 年度から令和 5 年度の従量料金の減少幅の平均としました。

## （3） 料金改定前の経営シミュレーション（料金収入）との比較

(1)(2)の予測を現行料金表に当てはめ、料金改定前の料金収入予測と合致しているか確認したところ、下表のとおり、料金算定期間（R9-R13）における５年間の差額合計が 1,827 千円となり、概ね合致していることが分かります。

**A 経営シミュレーション時**　　**決算**　　（単位：千円）

| 項目 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 料金収入（現行料金） | 1,133,128 | 1,128,055 | 1,091,753 | 1,053,105 | 1,039,861 | 1,008,123 | 966,414 | 947,268 | 917,818 | 870,470 | 848,264 |
| 差額 B-A | 0 | △20,530 | △12,185 | △687 | △13,814 | △7,692 | 9,136 | 4,111 | 10,086 | 34,631 | 34,684 |

料金算定期間(R9-R13) 差額合計　1,827千円

**B 給水件数･従量料金　予測後**　　**決算**　　（単位：千円）

| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 料金収入（現行料金） | | 1,133,128 | 1,107,525 | 1,079,569 | 1,052,418 | 1,026,046 | 1,000,431 | 975,550 | 951,379 | 927,904 | 905,101 | 882,947 |
| 基本料金 | 給水件数予測後 | 309,054 | 308,997 | 305,795 | 302,631 | 299,503 | 296,411 | 293,354 | 290,331 | 287,349 | 284,403 | 281,491 |
| 従量料金 | 年減少幅　△ 3.1% | 824,074 | 798,528 | 773,774 | 749,787 | 726,543 | 704,020 | 682,196 | 661,048 | 640,555 | 620,698 | 601,456 |

【比較のポイント】

- 上記 AB の試算方法は以下のとおり考え方が異なっていますが、料金算定期間(R9-R13)における両試算の差額が「1,827 千円」と近似です。

### A 経営シミュレーション時の料金収入の求め方

料金収入　＝　①有収水量の予測　×　供給単価

①有収水量　＝　給水人口の予測　×　1 日あたりの使用水量（過去 4 年間平均）　×　年間日数

### B 給水件数･従量料金の予測による料金収入の求め方

料金収入　＝　②基本料金　＋　③従量料金

②基本料金　＝　給水件数の予測　×　基本料金単価（現行料金）

③従量料金　＝　従量料金の予測　×　年減少率

## （4） 目標とする料金収入額の確認

(3)で妥当性を確認した**「B 給水件数・従量料金の予測後」の推移予測**を基に、経営目標を実現するために必要な料金改定率 38%増を反映し、目標収入割合「基本料金：従量料金＝3：7」となる目標収入額を算出した結果は以下のとおりです。

### ■目標収入額

**B 給水件数･従量料金　予測後（38%増改定後）**

**決算**　　**新料金**　　（単位：千円）

| 経営シミレーション | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 料金収入 | | 1,133,128 | 1,107,520 | 1,079,557 | 1,052,400 | 1,415,944 | 1,380,595 | 1,346,259 | 1,312,903 | 1,280,508 | 1,249,039 | 1,218,467 |
| 基本料金 | 収入割合 3 | | | | | 424,783 | 414,179 | 403,878 | 393,871 | 384,152 | 374,712 | 365,540 |
| 従量料金 | 〃 7 | | | | | 991,161 | 966,416 | 942,381 | 919,032 | 896,356 | 874,327 | 852,927 |

（注）令和5年度～令和8年度は現行料金

ここからは、令和９年度の目標収入額を満たす、新しい「口径別基本料金単価」と「従量料金単価」を設定します。

## （5） (新)口径別基本料金単価の設定

目標収入割合を満たす口径別基本料金単価を、以下の 2 パターンを設定します。

### ■現行の基本料金単価を一律 38%改定した場合（基本料金パターン A）

単位：円（税抜）

| 口径 | R9給水件数 ① | 現行料金単価 ② | 38%改定単価 ③=②×1.38 | R9収入見込額 ①×③ |
|---|---|---|---|---|
| 13mm | 89,168 | 1,680 | 2,320 | 206,869,760 |
| 20mm | 65,665 | 1,800 | 2,480 | 162,849,200 |
| 25mm | 3,439 | 2,600 | 3,590 | 12,346,010 |
| 30mm | 164 | 2,600 | 3,590 | 588,760 |
| 40mm | 1,483 | 6,200 | 8,560 | 12,694,480 |
| 50mm | 665 | 12,400 | 17,110 | 11,378,150 |
| 75mm | 165 | 18,400 | 25,390 | 4,189,350 |
| 100mm | 6 | 62,400 | 86,110 | 516,660 |
| 150mm | 18 | 71,400 | 98,530 | 1,773,540 |
| | | | 計 | 413,205,910 |

→ 413,206千円 ＜ R9目標収入額 424,783千円

（注）単価は1件・2ヵ月あたりの税抜価格です

目標収入額との差（不足） △11,577千円

【設定のポイント】

- 現行の基本料金単価を一律 38%改定した単価を採用し、令和 9 年度の予測給水件数を乗じて令和 9 年度の収入見込額を算定しました。
- （4）で確認した令和 9 年度の目標収入額と比較して「11,577 千円」下回っているため、このギャップを埋める必要が生じます。

### ■目標収入額とのギャップを埋めた場合（基本料金パターン B）

単位：円（税抜）

| 口径 | R9給水件数 ① | 現行料金単価 ② | 改定単価 ③′（調整後） | R9収入見込額 ①×③′ |
|---|---|---|---|---|
| 13mm | 89,168 | 1,680 | 2,390 | 213,111,520 |
| 20mm | 65,665 | 1,800 | 2,560 | 168,102,400 |
| 25mm | 3,439 | 2,600 | 3,640 | 12,517,960 |
| 30mm | 164 | 2,600 | 3,900 | 639,600 |
| 40mm | 1,483 | 6,200 | 8,560 | 12,694,480 |
| 50mm | 665 | 12,400 | 17,110 | 11,378,150 |
| 75mm | 165 | 18,400 | 25,400 | 4,191,000 |
| 100mm | 6 | 62,400 | 86,100 | 516,600 |
| 150mm | 18 | 71,400 | 98,500 | 1,773,000 |
| | | | 計 | 424,924,710 |

→ 424,925千円 ＞ R9目標収入額 424,783千円

（注）単価は1件・2ヵ月あたりの税抜価格です

目標収入額との差（超過） +142千円

【設定のポイント】

- 目標収入額（目標収入割合 3 割）と近似になるように小口径単価を中心に調整した結果、差が「+142 千円」と大幅に縮まりました。

・ 30㎜については現行料金では25㎜と同じ単価となっていますが、水道料金算定要領では口径が大きさに比例して水を供給するための費用が多くかかるとされているため、25㎜とは別の単価を設定しています。

以上のことから、目標収入額を満たす「基本料金パターンB」を(新)単価とすると、改定率は以下のとおりです。

■(新)基本料金単価

単位：円（2ヵ月･税抜）

| 口径 | R9給水件数 | 現行料金単価 | 新料金単価 | 改定額 | 改定率（%） |
|---|---|---|---|---|---|
| 13mm | 89,168 | 1,680 | 2,390 | 710 | 42.3% |
| 20mm | 65,665 | 1,800 | 2,560 | 760 | 42.2% |
| 25mm | 3,439 | 2,600 | 3,640 | 1,040 | 40.0% |
| 30mm | 164 | 2,600 | 3,900 | 1,300 | 50.0% |
| 40mm | 1,483 | 6,200 | 8,560 | 2,360 | 38.1% |
| 50mm | 665 | 12,400 | 17,110 | 4,710 | 38.0% |
| 75mm | 165 | 18,400 | 25,400 | 7,000 | 38.0% |
| 100mm | 6 | 62,400 | 86,100 | 23,700 | 38.0% |
| 150mm | 18 | 71,400 | 98,500 | 27,100 | 38.0% |

（注）単価は1件･2ヵ月あたりの税抜価格です

【設定のポイント】

・ 給水件数の減少は小口径が多いことから、減収の要因となっている小口径の改定率が高くなるように傾斜を付けています。

## （6） (新)従量料金単価の設定

令和５年度の使用水量の分布を参考に、目標収入割合を満たす従量料金単価を、以下の２パターンを設定します。

■令和５年度の使用水量別請求件数の分布（実績）

（単位：件）

| 口径 / 使用水量 | 13mm | 20mm | 25mm | 30mm | 40mm | 50mm | 75mm | 100mm | 150mm | 臨時用 船舶用 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0～20㎥ | 53,486 | 26,087 | 1,292 | 63 | 309 | 74 | 4 | － | － | 417 | 81,732 |
| 21～40㎥ | 24,266 | 22,072 | 627 | 31 | 205 | 49 | 4 | － | － | 17 | 47,271 |
| 41～100㎥ | 15,979 | 18,670 | 957 | 33 | 302 | 118 | 9 | － | － | 12 | 36,080 |
| 101～1000㎥ | 609 | 706 | 623 | 30 | 622 | 307 | 91 | 2 | 3 | 22 | 3,015 |
| 1001～2000㎥ | 1 | 1 | 23 | 7 | 70 | 78 | 21 | 3 | 2 | － | 206 |
| 2001㎥～ | － | － | 15 | － | 35 | 43 | 36 | 1 | 13 | － | 143 |
| 計 | 94,341 | 67,536 | 3,537 | 164 | 1,543 | 669 | 165 | 6 | 18 | 468 | 168,447 |

（注）臨時用･船舶以外については2ヵ月単位の請求ベースとする。

（注）共用栓については世帯数×13mmとして計上

## ■現行の従量料金単価を一律 38%改定した場合（従量料金パターン A）

単位：円（税抜）

| 使用水量 | R5給水件数（参考） | 現行料金単価 | 38%改定単価 | R9収入見込額 |
|---|---|---|---|---|
| 0～20㎥ | 81,315 | 85 | 117 | 68,167,282 |
| 21～40㎥ | 47,254 | 150 | 207 | 184,180,350 |
| 41～100㎥ | 36,068 | 185 | 255 | 337,463,354 |
| 101～1000㎥ | 2,993 | 220 | 304 | 166,382,213 |
| 1001～2000㎥ | 206 | 205 | 283 | 74,641,708 |
| 2001㎥～ | 143 | 190 | 262 | 165,412,169 |
| 臨時用・船舶用 | 468 | 490 | 676 | 5,332,357 |
| | | | 計 | 1,001,579,434 |

R9目標収入額

→ 1,001,579千円 ＞ 991,161千円

（注）単価は1㎥・2ヵ月あたりの税抜価格です

目標収入額との差（超過） +10,418千円

【設定のポイント】

- 現行の従量料金単価を一律 38%改定した単価を採用し、令和 9 年度の収入見込額を算定しました。
- （4）で確認した令和 9 年度の目標収入額と比較して、差が「10, 418 千円」上振れているため、収入額を減額調整し改定率を下げることができます。

## ■目標収入額に合わせて収入額を減額した場合（従量料金パターン B）

単位：円（税抜）

| 使用水量 | R5給水件数（参考） | 現行料金単価 | 改定単価（調整後） | R9収入見込額 |
|---|---|---|---|---|
| 0～20㎥ | 81,315 | 85 | 115 | 67,002,029 |
| 21～40㎥ | 47,254 | 150 | 204 | 181,257,307 |
| 41～100㎥ | 36,068 | 185 | 255 | 334,283,162 |
| 101～1000㎥ | 2,993 | 220 | 304 | 166,118,336 |
| 1001～2000㎥ | 206 | 205 | 278 | 74,252,611 |
| 2001㎥～ | 143 | 190 | 257 | 163,004,059 |
| 臨時用・船舶用 | 468 | 490 | 676 | 5,332,357 |
| | | | 計 | 991,249,861 |

R9目標収入額

→ 991,250千円 ＞ 991,161千円

（注）単価は1㎥・2ヵ月あたりの税抜価格です

目標収入額との差（超過） +89千円

【設定のポイント】

- 目標収入額（目標収入割合 7 割）と近似になるように全体的に調整した結果、差が「+89 千円」と大幅に縮まりました。

以上のことから、目標収入額を満たす「従量料金パターンB」を(新)単価とすると、改定率は以下のとおりです。

## ■(新)従量料金単価

単位：円（2ヵ月・税抜）

| 使用水量 | R5給水件数（参考） | 現行料金単価 | 新料金単価 | 改定額 | 改定率（%） |
|---|---|---|---|---|---|
| 0～20㎥ | 81,315 | 85 | 115 | 30 | 35.3% |
| 21～40㎥ | 47,254 | 150 | 204 | 54 | 36.0% |
| 41～100㎥ | 36,068 | 185 | 255 | 70 | 37.8% |
| 101～1000㎥ | 2,993 | 220 | 304 | 84 | 38.2% |
| 1001～2000㎥ | 206 | 205 | 278 | 73 | 35.6% |
| 2001㎥～ | 143 | 190 | 257 | 67 | 35.3% |
| 臨時用・船舶用 | 468 | 490 | 676 | 186 | 38.0% |

（注）単価は1㎥・2ヵ月あたりの税抜価格です

【設定のポイント】

- 「水道料金算定要領」では、従量料金は使用量に応じて公平に負担すべきものであり、原則として均一とされています。その場合の単価は「1 ㎥あたり 194 円」※となり、20㎥までの少量利用者の改定率が 128%（現行料金の約 2.3 倍）、逆に 1,001 ㎥以上の大口利用者と臨時用・船舶用では改定率がマイナスになるなど、負担のばらつきが大きく均一単価の採用は難しいと考えます。
- したがって、現行の逓増逓減型を継続しつつ、少量利用者と大口利用者の負担軽減に配慮して設定しました。

### ※ 参考「1 ㎥あたり 194 円」について

従量料金における令和 9 年度目標収入額「991,161 千円」に最も近似になる均一単価です。

単位：円（2ヵ月・税抜）　単位：円（税抜）

| 使用水量 | R5給水件数（参考） | 現行料金単価 | 新料金単価（均一） | 改定額 | 改定率（%） | R9収入見込額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 0～20㎥ | 81,315 | 85 | 194 | 109 | 128.2% | 113,029,510 |
| 21～40㎥ | 47,254 | 150 | | 44 | 29.3% | 242,942,004 |
| 41～100㎥ | 36,068 | 185 | | 9 | 4.9% | 346,739,991 |
| 101～1000㎥ | 2,993 | 220 | | -26 | -11.8% | 120,693,798 |
| 1001～2000㎥ | 206 | 205 | | -11 | -5.4% | 49,626,475 |
| 2001㎥～ | 143 | 190 | | 4 | 2.1% | 117,404,192 |
| 臨時用・船舶用 | 468 | 490 | | -296 | -60.4% | 1,530,292 |
| | | | | | 計 | 991,966,261 |

（注）単価は1㎥・2ヵ月あたりの税抜価格です

R9目標収入額

→ 991,966千円 ＞ 991,161千円

目標収入額との差（超過）　+805千円

## （7） (新)料金表の概要

(5)(6)で設定した(新)料金表の概要は以下のとおりです。

① 目標収入割合を「基本料金：従量料金＝3：7」に設定
② 従量料金について逓増逓減型を維持

### ■(新)料金表の概要

単位：円（2ヵ月･税抜）

| 口径 | 基本料金 | 従量料金 | | | | | | 臨時用<br>船舶用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 0～20㎥ | 21～40㎥ | 41～100㎥ | 101～1000㎥ | 1001～2000㎥ | 2001㎥～ | |
| 13mm | 2,390 | 115 | 204 | 255 | 304 | 278 | 257 | 676 |
| 20mm | 2,560 | | | | | | | |
| 25mm | 3,640 | | | | | | | |
| 30mm | 3,900 | | | | | | | |
| 40mm | 8,560 | | | | | | | |
| 50mm | 17,110 | | | | | | | |
| 75mm | 25,400 | | | | | | | |
| 100mm | 86,100 | | | | | | | |
| 150mm | 98,500 | | | | | | | |

### ■現行料金との差額･改定率

単位：円（2ヵ月･税抜）

| 口径 | 基本料金<br>改定額（円）<br>改定率（%） | 従量料金<br>改定額（円）／改定率（%） | | | | | | 臨時･船舶<br>改定額（円）<br>改定率（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 0～20㎥ | 21～40㎥ | 41～100㎥ | 101～1000㎥ | 1001～2000㎥ | 2001㎥～ | |
| 13mm | +710<br>**42.3%** | +30<br>**35.3%** | +54<br>**36.0%** | +70<br>**37.8%** | +84<br>**38.2%** | +73<br>**35.6%** | +67<br>**35.3%** | +186<br>**38.0%** |
| 20mm | +760<br>**42.2%** | | | | | | | |
| 25mm | +1,040<br>**40.0%** | | | | | | | |
| 30mm | +1,300<br>**50.0%** | | | | | | | |
| 40mm | +2,360<br>**38.1%** | | | | | | | |
| 50mm | +4,710<br>**38.0%** | | | | | | | |
| 75mm | +7,000<br>**38.0%** | | | | | | | |
| 100mm | +23,700<br>**38.0%** | | | | | | | |
| 150mm | +27,100<br>**38.0%** | | | | | | | |

## （8） (新)料金表と経営目標との比較

設定された(新)単価が目標収入割合を満たし、かつ経営目標と合致しているか確認したところ、下表のとおり、料金改定初年度の令和 9 年度において目標収入割合を満たし、かつ料金改定 5 年目の令和 13 年度において経営目標である「保有資金 16 億円程度」を満たしていることを確認しました。

また、料金改定率は当初想定のとおり「38.0%増」となっています。

### ■当期純利益（純損失）

決算　　新料金　　単位：千円

| | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 料金収入 | 1,133,128 | 1,128,055 | 1,091,753 | 1,053,105 | 1,416,175 | 1,381,053 | 1,346,934 | 1,313,787 | 1,281,591 | 1,250,314 | 1,219,925 |
| 基本料金 | | | | | 424,925 | 420,532 | 416,189 | 411,895 | 407,658 | 403,473 | 399,336 |
| 従量料金 | | | | | 991,250 | 960,521 | 930,745 | 901,892 | 873,933 | 846,841 | 820,589 |
| 基本：従量 | | | | | 3：7 | 3：7 | 3.1：6.9 | 3.1：6.9 | 3.2：6.8 | 3.2：6.8 | 3.3：6.7 |
| 当期純利益(△損失) | 138,251 | 6,850 | △24,782 | △106,292 | 226,945 | 183,861 | 145,935 | 103,884 | 66,147 | 25,370 | △8,878 |

R9改定率 38.0%増

| | | |
|---|---|---|
| R9 給水収益予測（現行料金） | 1,026,024 千円 | A |
| R9 〃 （新料金） | 1,416,144 千円 | B |
| 改定率 | 138.0 % | B÷A |

### ■資金残高予測

決算　　単位：千円

| | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 当期純利益(△損失) | 138,251 | 6,850 | △24,782 | △106,292 | 226,945 | 183,861 | 145,935 | 103,884 | 66,147 | 25,370 | △8,878 |
| 資本的収支不足額 | △625,489 | △578,348 | △653,921 | △644,989 | △690,215 | △628,331 | △598,384 | △583,219 | △579,641 | △589,358 | △568,811 |
| 補填財源 | 625,489 | 578,348 | 653,921 | 644,989 | 690,215 | 628,331 | 598,384 | 583,219 | 579,641 | 589,358 | 568,811 |
| 損益勘定留保資金 | 462,068 | 468,801 | 473,060 | 470,671 | 462,845 | 467,646 | 464,010 | 466,966 | 469,248 | 472,833 | 462,421 |
| その他 | 62,562 | 85,513 | 106,389 | 88,208 | 106,389 | 106,389 | 106,389 | 106,389 | 106,389 | 106,389 | 106,389 |
| 利益剰余金処分額 | 100,859 | 24,034 | 74,473 | 86,111 | 120,981 | 54,296 | 27,985 | 9,864 | 4,004 | 10,136 | － |
| 補填財源不足額 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 期末資金残高 | 1,341,478 | 1,324,294 | 1,225,040 | 1,032,638 | 1,138,602 | 1,268,167 | 1,386,117 | 1,480,137 | 1,542,280 | 1,557,515 | 1,548,637 |

当期純利益の場合）期末資金残高 ＝ 前年度残高 ＋ 当期純利益 － 利益剰余金処分額

当期純損失の場合）期末資金残高 ＝ 前年度残高 － 利益剰余金処分額（当期純損失を含む） ＋ 補填財源不足額

# 6．（新）料金表による使用者への影響

2ヵ月あたりの影響額（負担増）について、以下のとおりモデルケースを想定しました。

## ■使用口径：13mm

| 口径 | 13mm | 使用水量 | 20㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 1,680 | 1,700 | 3,380 | 2,390 | 2,300 | 4,690 | 710円増 | 600円増 | 1,310円増 |
| | | | | | | 42.3%増 | 35.3%増 | 38.8%増 |

| 口径 | 13mm | 使用水量 | 40㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 1,680 | 4,700 | 6,380 | 2,390 | 6,380 | 8,770 | 710円増 | 1,680円増 | 2,390円増 |
| | | | | | | 42.3%増 | 35.7%増 | 37.5%増 |

| 口径 | 13mm | 使用水量 | 60㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 1,680 | 8,400 | 10,080 | 2,390 | 11,480 | 13,870 | 710円増 | 3,080円増 | 3,790円増 |
| | | | | | | 42.3%増 | 36.7%増 | 37.6%増 |

| 口径 | 13mm | 使用水量 | 100㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 1,680 | 15,800 | 17,480 | 2,390 | 21,680 | 24,070 | 710円増 | 5,880円増 | 6,590円増 |
| | | | | | | 42.3%増 | 37.2%増 | 37.7%増 |

## ■使用口径：20mm

| 口径 | 20mm | 使用水量 | 20㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 1,800 | 1,700 | 3,500 | 2,560 | 2,300 | 4,860 | 760円増 | 600円増 | 1,360円増 |
| | | | | | | 42.2%増 | 35.3%増 | 38.9%増 |

| 口径 | 20mm | 使用水量 | 40㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 1,800 | 4,700 | 6,500 | 2,560 | 6,380 | 8,940 | 760円増 | 1,680円増 | 2,440円増 |
| | | | | | | 42.2%増 | 35.7%増 | 37.5%増 |

| 口径 | 20mm | 使用水量 | 60㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 1,800 | 8,400 | 10,200 | 2,560 | 11,480 | 14,040 | 760円増 | 3,080円増 | 3,840円増 |
| | | | | | | 42.2%増 | 36.7%増 | 37.6%増 |

| 口径 | 20mm | 使用水量 | 100㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 1,800 | 15,800 | 17,600 | 2,560 | 21,680 | 24,240 | 760円増 | 5,880円増 | 6,640円増 |
| | | | | | | 42.2%増 | 37.2%増 | 37.7%増 |

## ■使用口径：25mm

| 口径 | 25mm | 使用水量 | 40㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 2,600 | 4,700 | 7,300 | 3,640 | 6,380 | 10,020 | 1,040円増 | 1,680円増 | 2,720円増 |
| | | | | | | 40.0%増 | 35.7%増 | 37.3%増 |

| 口径 | 25mm | 使用水量 | 100㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 2,600 | 15,800 | 18,400 | 3,640 | 21,680 | 25,320 | 1,040円増 | 5,880円増 | 6,920円増 |
| | | | | | | 40.0%増 | 37.2%増 | 37.6%増 |

## ■使用口径：30mm

| 口径 | 30mm | 使用水量 | 40㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 2,600 | 4,700 | 7,300 | 3,900 | 6,380 | 10,280 | 1,300円増 | 1,680円増 | 2,980円増 |
| | | | | | | 50.0%増 | 35.7%増 | 40.8%増 |

| 口径 | 30mm | 使用水量 | 100㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 2,600 | 15,800 | 18,400 | 3,900 | 21,680 | 25,580 | 1,300円増 | 5,880円増 | 7,180円増 |
| | | | | | | 50.0%増 | 37.2%増 | 39.0%増 |

## ■使用口径：40mm

| 口径 | 40mm | 使用水量 | 100㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 6,200 | 15,800 | 22,000 | 8,560 | 21,680 | 30,240 | 2,360円増 | 5,880円増 | 8,240円増 |
| | | | | | | 38.1%増 | 37.2%増 | 37.5%増 |

| 口径 | 40mm | 使用水量 | 1000㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 6,200 | 213,800 | 220,000 | 8,560 | 295,280 | 303,840 | 2,360円増 | 81,480円増 | 83,840円増 |
| | | | | | | 38.1%増 | 38.1%増 | 38.1%増 |

## ■使用口径：50mm

| 口径 | 50mm | 使用水量 | 100㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 12,400 | 15,800 | 28,200 | 17,110 | 21,680 | 38,790 | 4,710円増 | 5,880円増 | 10,590円増 |
| | | | | | | 38.0%増 | 37.2%増 | 37.6%増 |

| 口径 | 50mm | 使用水量 | 1000㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 12,400 | 213,800 | 226,200 | 17,110 | 295,280 | 312,390 | 4,710円増 | 81,480円増 | 86,190円増 |
| | | | | | | 38.0%増 | 38.1%増 | 38.1%増 |

## ■使用口径：75mm

| 口径 | 75mm | 使用水量 | 1000㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 18,400 | 213,800 | 232,200 | 25,400 | 295,280 | 320,680 | 7,000円増 | 81,480円増 | 88,480円増 |
| | | | | | | 38.0%増 | 38.1%増 | 38.1%増 |

| 口径 | 75mm | 使用水量 | 2000㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 18,400 | 418,800 | 437,200 | 25,400 | 573,280 | 598,680 | 7,000円増 | 154,480円増 | 161,480円増 |
| | | | | | | 38.0%増 | 36.9%増 | 36.9%増 |

## ■使用口径：100mm

| 口径 | 100mm | 使用水量 | 1000㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 62,400 | 213,800 | 276,200 | 86,100 | 295,280 | 381,380 | 23,700円増 | 81,480円増 | 105,180円増 |
| | | | | | | 38.0%増 | 38.1%増 | 38.1%増 |

| 口径 | 100mm | 使用水量 | 2000㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 62,400 | 418,800 | 481,200 | 86,100 | 573,280 | 659,380 | 23,700円増 | 154,480円増 | 178,180円増 |
| | | | | | | 38.0%増 | 36.9%増 | 37.0%増 |

## ■使用口径：150mm

| 口径 | 150mm | 使用水量 | 1000㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 71,400 | 213,800 | 285,200 | 98,500 | 295,280 | 393,780 | 27,100円増 | 81,480円増 | 108,580円増 |
| | | | | | | 38.0%増 | 38.1%増 | 38.1%増 |

| 口径 | 150mm | 使用水量 | 2000㎥ | 使用期間 | 2ヵ月 |
|---|---|---|---|---|---|

単位：円（税抜き）

| 現行料金 | | | 新料金 | | | 負担増 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 | 基本料金 | 従量料金 | 合計 |
| 71,400 | 418,800 | 490,200 | 98,500 | 573,280 | 671,780 | 27,100円増 | 154,480円増 | 181,580円増 |
| | | | | | | 38.0%増 | 36.9%増 | 37.0%増 |

【ポイント】

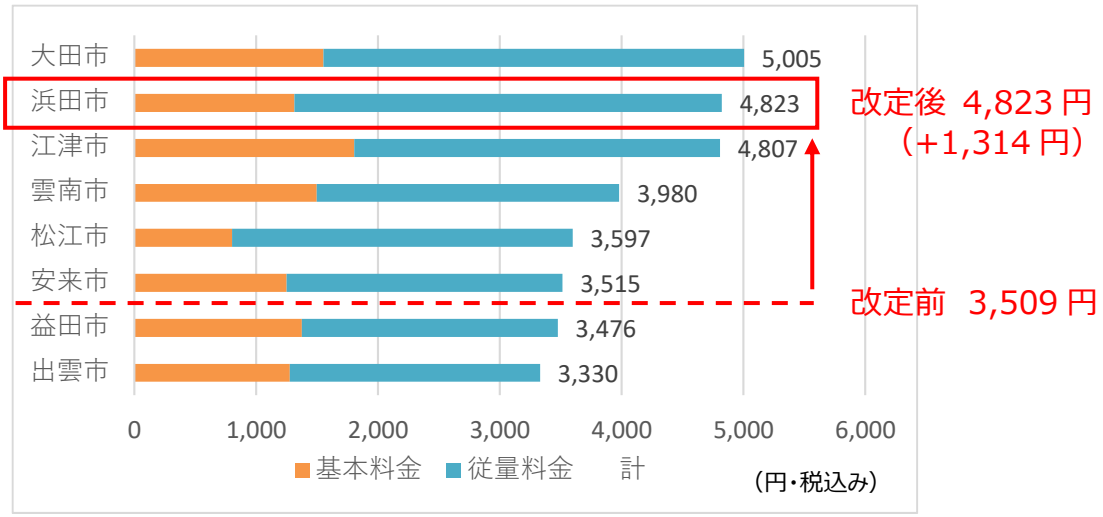
・ 基本料金では口径別に 38.0%から 50.0%の負担増のばらつきはあるものの、従量料金を合わせた合計では 36.9%から 40.8%と、平均改定率 38.0%と均衡が図れています。

# ７．改定後の県内８市の水道料金比較

料金改定後の本市の水道料金は、改定前は島根県平均よりやや低い水準でしたが、改定後は県内８市で二番目に高い料金となる予定です。

ただし、他市においても料金改定の動きがあり、あくまで現時点の参考となります。

■県内８市の水道料金比較（13mm、１ヵ月･20 ㎥使用）




（出典：島根県健康福祉部薬事衛生課 令和４年度島根県の水道〔令和５年３月 31 日現在〕）